

自殺を防ぐとは、「生きる」をお互いに支えること

平成22年度の電話相談件数は、1886件になり前年度より約1割増加しています。男女別では、21年度がほぼ同数だったのに対して、22年度は男性の割合がわずかながら増加しています。平成23年1～3月の三か月間での男女比は5対4になっており、男性が女性をさらに上回っています。

また、相談者を年代別でみると、三十歳から五九歳までが全体の四分の三を超えていて、男性の約7割は働き盛りの三十代と四十代で占めています。十代や六十代以上からの電話相談が少ないことから、高齢者との接点をどのようにしていくかが課題といえます。

電話で相談することに馴染みの少ない高齢者や弱音の吐けない男性にとっては、特に公的機関や地域とのつながりが重要です。そのつながりの接点にいる方が「ゲートキーパー」です。もともとは、門番という意味がありますが、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」のことをゲートキーパーと呼んでいます。

専門性がある方もそうでない方も今、持っている力を出し合って互いに支えることで、悩んでいる人に気づき孤立させないことや、必要な支援につなげることは、ゲートキーパーとしての第一歩だと思います。そして、必要な支援につなげる選択肢のなかに自殺防止センターの相談電話や遺された方のための自死遺族のつどいがあるのです。

自殺を防ぐとは、「生きる」をお互いに支えることです。周りの方へ関心を持ち、つながりをみながら深めることが大切です。

電話相談ボランティアの第一期養成講座が10月から始まります。「生きる」をお互いで支え、私たちと共に学ばれますことを願っております。これからも、自殺防止のために夜間の電話相談や自死遺族支援、普及啓発の民間団体として活動していくために、多くの皆さまからの支援やお声を頂戴したいと思います。 工藤智徳



発行日 2011年7月1日
 発行者 NPO 法人
 宮崎自殺防止センター
 発行責任者 工藤智徳
 連絡先 (TEL)0985-77-9111
 (FAX)0985-77-9222

電話相談ボランティア募集のご案内

☆養成講座受講希望者は研修の説明や活動内容などを案内しますオープンハウス(無料)へお越しください。
 日時 9月3日 18:30~20:30 会場市民プラザ4階

【ビフレンダー11期生 養成講座】

☆研修(全10回) 時間 18:30 ~ 21:30

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 10月 1日(土) | ⑥ 11月 5日(土) |
| ② 10月 8日(土) | ⑦ 11月 12日(土) |
| ③ 10月 15日(土) | ⑧ 11月 19日(土) |
| ④ 10月 22日(土) | ⑨ 11月 26日(土) |
| ⑤ 10月 29日(土) | ⑩ 12月 3日(土) |

受講費用：25,000円(研修費・資料代等)
 参加条件：満20歳以上で、心身ともに健康な人
 会場：市民プラザ4階
 研修後は電話相談ボランティアとして活動していただきます。

NPO 法人 宮崎自殺防止センター事務局
 (日曜・水曜・金曜 午後8時~11時)

TEL 0985-77-9111

FAX 0985-77-9222

ホームページ URL <http://www3.ocn.ne.jp/~spcmiya/>

メールアドレス bwspcmiya@polka.ocn.ne.jp

宮崎自殺防止センターの活動内容

① 自殺防止電話相談

(日曜・水曜・金曜 午後8時~11時)

相談専用電話番号 **0985-77-9090**

② ランタンのつどい

(自死遺族のわかちあいの会)

7/9, 8/6, 9/17, 10/8, 11/12, 12/3

会場 宮崎市民プラザ4F 土曜日 午後2時~4時

問合せ 精神保健福祉センター 0985-27-5663

③ 自殺防止啓発イベントの開催

講演・フォーラム、パネル展示、研修など

④ 自殺防止推進協力員制度の実施



2011年3月19日 自殺防止推進協力員研修 東臼杵郡門川町

ボランティア 参加者の「こえ」

宮崎自殺防止センター 相談員 E・Y 【4期生】



きっかけは2008年6月、新聞の記事に目が留まったことからでした。「足りない自殺相談員」という見出しの写真付きのその記事は、電話相談によって自殺防止に取り組んでいる当センターの活動を紹介するものでした。

南国宮崎の自殺率が全国でもワースト2位だったことも、「そういうえばニュースで聞いたかな」と思い起こす程度の自分でした。それでも、この宮崎の現状を何とかしたい、何とかせねば…と夜間の電話相談を一件でも多く受け止めたいという自殺防止センターの思いは伝わってきたのです。そして翌日、第4期電話相談員養成講座がスタート致しました。

様々な苦悩の末に電話を掛けてくる相談者にどう応えるのか、専門知識も何も全く無いまま飛び込んで、養成講座の中で本当に多くのことに気付かされました。改めて自分自身について気付くことが多かったかも知れません。

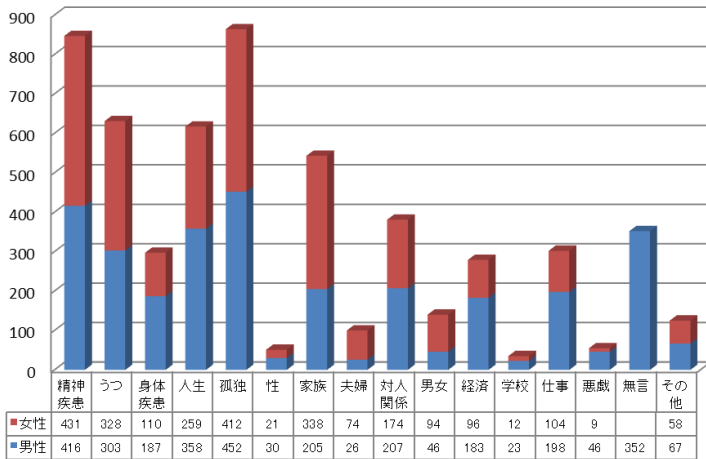
あの日から、センターの仲間を支えられながら瞬く間に3年が経ちました。その間に電話相談件数は増加し続けています。電話相談やその他の活動には、相談員の仲間をもっと増やしていくことが一番必要だと感じています。

きっかけを見つけたら、どうぞ養成講座にお越し下さい。心からお待ちしています。



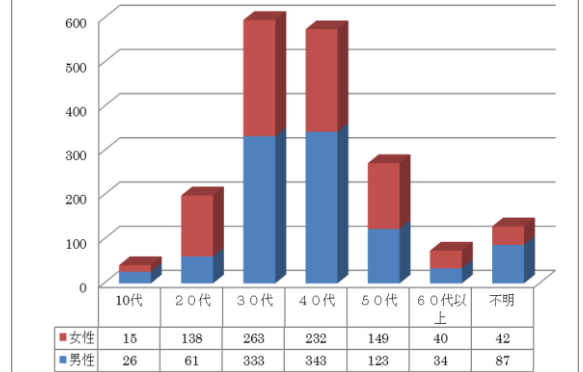
相談内容(重複あり)

総数 = 1886



相談件数(年代別)

総数 = 1886



～ 22年度電話実績 ～ 相談件数と内容の男女別グラフです。

男性の相談が女性より1割ほど多くなっています。

また、相談内容はさまざまです



寄付のお願い

宮崎自殺防止センターは、特定のところからの資金援助は受けておりません。

活動を継続していくために、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以下の口座にお振込みをお願い致します。

郵便振替口座: 01710-9-65282
加入者名: 宮崎自殺防止センター

宮崎銀行 神宮支店
普通口座: 41785
名義: 宮崎自殺防止センター
所長 工藤智徳

九州労働金庫 宮崎支店
普通口座: 3464913
名義: 宮崎自殺防止センター
所長 工藤智徳



寄付のお礼

平成22年度の寄付者 (敬称略)

弁 護 士 大 迫 敏 輝
司 法 書 士 平 野 龍 三 郎
隆 誠 会 理 事 長 山 崎 弘 道
宮 崎 市 民 クリスマス 実 行 委 員 会
三 山 吉 夫
町 野 麗 子
そ の 他 匿 名 2 0 名

助成金等の用途について

平成22年度 赤い羽根共同募金運動による助成金として宮崎自殺防止センターには18万円をいただきましたので、パソコン及びプリンターを購入しました。会計処理、電話相談集計等に活用したいと思います。



赤い羽根共同募金

編集後記 梅雨明けまでに発行しようと取り組むも6月中に梅雨が明けてしまいましたね。大迫